

第二回電王戦から第三回電王戦でのレギュレーション変更点

※レギュレーションの変更点は複雑なため、編集部にて要約的に言い回しを変更しています。

・出場ソフトの貸出、プログラムの状態

第二回：

貸し出しの可否は開発者側に委ねられている。また、直前まで開発者側がアップデート・バグ修正などを自由に行うことができる。

第三回：

「将棋電王トーナメント」出場時の**プログラムを事前に出場棋士に貸し出す**。貸し出したあとのソフトウェアのバージョンアップやバグ修正は**原則として禁止する**。

・出場ソフトが使用するハード

第二回：

使用するマシンスペックは各ソフトの開発者側の自由に委ねられている。クラスタ化も制限なし。

第三回：

出場ソフトはすべて**電王戦公式統一採用**パソコン「GALLERIA 電王戦レビュー」(**※1**)を使用する。出場棋士にも**事前に同様のPCを貸し出す**。

・出場ソフトの決定方法

第二回：

世界コンピュータ将棋選手権 (**※2**) の上位 5 ソフトが出場する。

第三回：

ドワンゴ主催の「**第 1 回 将棋電王トーナメント**」の上位 5 ソフトが出場する。

・「代指し」の担当変更

第二回：

三浦孝介奨励会初段(当時)がいわゆる「代指し」を担当し、ソフトの指し手を盤面に反映させる。

第三回：

将棋専用のロボットアーム「電王手(でんおうて)くん」(※3) がソフトの指し手を盤面に反映させる。

・持ち時間の変更

第二回：

10 時対局開始。持ち時間はストップウォッチ計測で各 4 時間。1 分未満切り捨てとし、3 時間 59 分を消費した後は、一手 1 分未満で指す一分将棋となる。

第三回：

10 時対局開始。持ち時間は**チェスクロック計測で各 5 時間**。持ち時間を全て消費した場合は、一手 1 分未満で指す一分将棋となる。

・休憩時間の変更

第二回：

昼食休憩は、可能な限り厳密に、12 時 00 分から 13 時 00 分までの 1 時間とする。夕食休憩はなし。

第三回：

昼食休憩は可能な限り厳密に、12 時 00 分から 13 時 00 分までの 1 時間とする。

夕食休憩は可能な限り厳密に、17 時 00 分から 17 時 30 分までの 30 分間とする。

【編集部注】

※1 GALLERIA 電王戦レビュー

サードウェーブデジノスが製造するゲーミングパソコン。

※2 世界コンピュータ将棋選手権

コンピュータ将棋協会が主催する、将棋ソフトの実力向上を図る大会。ここではその第 22 回大会を指す。

※3 「電王手（でんおうて）くん」

デンソーの子会社デンソーウェーブが開発した将棋専用のロボットアーム。

参考：

第 2 回 将棋電王トーナメント ルール

http://ex.nicovideo.jp/img/denou/tournament2014/pc/denou_tournament_rule2014.pdf

第 3 回 将棋電王トーナメント ルール

http://info.nicovideo.jp/denou/tournament2015/img/rule/denou_tournament_rule2015.pdf